

自立活動
「乗富秀人氏が描くデフアートにみるろう者の手話文化」学習指導略案

- 1 対象
高等部
- 2 指導の形態（環境や指導法）
DVD の使用ができる教室
- 3 指導の目的
 - 1) デフアートについて理解する
 - 2) 乗富秀人氏が描くデフアートを通してろう社会について理解する
- 4 指導にあたって
 - ・ 事前に参考・引用文献に目を通しておくにより指導しやすくなる。

5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入	「アート」と「デフアート」の違いについて理解する	スライド2ページを使用 「アート」、「デフアート」と聞いて思いつくことを自由に発言させる	積極的に挙手しているか【関心意欲】
展開		スライド3ページを使用 「アート」、「デフアート」それぞれの違いについて説明する	
	「De'VIA」について理解する	スライド4ページを使用 「De'VIA」という言葉が生まれた経緯について説明する	
		スライド5ページを使用 「De'VIA」のテーマである「反抗」と「肯定」について説明する	
	国内におけるデフアートの第一人者でもある乗富秀人氏について知る	スライド6ページを使用 乗富秀人氏について紹介する	集中して映像を視聴しているか【態度】
	映像を視聴する	スライド7ページを使用 【映像視聴】 ろうを生きる難聴を生きる 『デフアートに希望を託して』 「作品の説明」 [01:40～02:47] ※ 「月の光」について説明。横になると「目」の形になる。「目」で見ながらコミュニケーションをとるという説明	
		「色のこだわり」 [03:15～05:02] ※ 紺・青・白3色の絵の具しか使っていないそ	

まとめ	乗富氏が描いたデフアートについて考える。 ワークシートに記入する	の理由を説明 「絵本」 [06:19～07:33] ※ 絵本に載せているアートについて説明 「デフアートを始めたきっかけ」 [09:55～12:45] ※乗富氏がデフアートを始めたきっかけを説明 上記4つの動画を見せた上で、みんなの考えを話し合う スライド8ページを使用 スライド5で紹介した De' VIA のテーマを参考に乗富氏作絵本「手話で生きたい」に載っている絵の中から「反抗」「肯定」はどれに当てはまると思うかみんなで考えさせる。 ※乗富氏の絵本「手話で生きたい」を用意する (回答例) 肯定： タイトル「守る」 (「手話で生きたい」12 ページ) 内容「手話は命がけで守る。私が倒れたら君たちが……君たちが倒れたら君たちの子どもが……だから私は手話で守ってみせる。」 反抗： タイトル「排除された手話」 (「手話で生きたい」14 ページ) 内容「手話を使わせないなんて、間違っている。絶対に間違っている。」 スライドを用いて要点を整理、理解する	積極的に発表しているか、適切な表現で発表することができるか【観察・発表】 要点を理解して、自分の考えをまとめられているか【ワークシート】
------------	--	---	--

※特筆すべき留意事項

6 参考・引用文献または Web サイト

- 論文：菅野奈津美,大杉豊,小林洋子.「日本におけるろう芸術の動向」,筑波技術大学テクノレポート,2016,24(1):27-32
- 書籍：乗富秀人.「手話で生きたい」,生活書院出版,2008
- DVD：ろうを生きる難聴を生きる,NHKETV2009年10月23日放映「デフアートを希望を託して」※聴覚障害者情報提供施設などのライブラリーで借りられます
- Web: De' VIA カリキュラム:<https://deviacurr.wordpress.com/devia-curr/devia-themes/>

作成：矢野 羽衣子 (2018 年)

編集：ろう者学教育コンテンツ開発取組担当